

社外から社内へのアクセス時の ユーザーの利便性向上のため VPN と Swivel を連携



充実したナレッジベースと豊富な接続実績、安定した品質を評価して将来は自社サービスとの連携も視野に

株式会社アイネット様(以下「アイネット」)は、データセンターとクラウドコンピューティングを展開する独立系のITサービスプロバイダーです。ガソリンスタンドの事業合理化やクレジット処理を代行する会社として、1971年の創業以来、全国のガソリンスタンドの約1/3が同社のデータセンターに接続し、ITサービスを利用しています。ユニークなのが、データセンター内で大量に文書を印刷・封入・封緘までを行えるプリンティングサービス。データセンターに保管されているデータを外に出さずにワンストップで直接郵送までできるため、セキュリティ面でメリットがあり、幅広くお客様にご好評を頂き、利用



2009年に稼働したアイネットのCloud Data Center「inet primary®」

株式会社アイネット 会社概要

設立	1971年4月22日
代表取締役会長	池田 典義
代表取締役社長	梶本 繁昌
所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目3番1号 三菱重工横浜ビル 23階
従業員数	連結1,372名 単独919名 (2014年4月1日現在)
資本金	3,203,992千円
事業内容	コンサルティング 企画・システム開発 システム運用・保守・ハウジング パッケージ販売・SaaS/ASP 出力物加工・発送

が広がっているということです。IT化が進んでも、紙への需要は無くならないことを敏感に察知してクラウドという最先端のテクノロジーと組み合わせることにより、付加価値の高いサービスを実現できました。

社員1,000人が使うリモートアクセス用認証基盤を刷新

アイネットでは、社員が外部から社内システムにログインする際の認証に、マトリクスコードを使ったソフトウェアトークンを使っていましたが、システムが老朽化し、スマートフォンへの対応も必要になってきたことから、新しいシステムへの移行が必要になりました。同じ製品の新バージョンに移行する選択肢もありましたが、別画面に表示されるコードを打ち直すという、基本的な部分の使い勝手がいまひとつと感じられたため、他のシステムの検討も行うことになったのです。

検討対象はSwivelを含むソフトウェアトークンを提供する3社でした。ハードウェアトークンを使った認証基盤も一通り調査しましたが、コストがかかる点、紛失した場合の対策など管理負荷が大きい点が懸念され、採用の検討からは外れました。

検討にあたって最も重視されたのは、

- ① 2要素認証による強固なセキュリティ
- ② 運用が容易なソフトウェアトークン
- ③ ユーザーの利便性

の3点でしたが、これらに加えて、アイネットならではの選定条件もありました。

自社サービスと組み合わせた提供も視野に入れ「提供スピード」を重視

データセンターやクラウド事業も手がけるアイネットは、今回導入する認証基盤を自社のサービス(仮想デスクトップサービスである「VIDAAS®」など)

と組み合わせることで顧客に提供することも視野に入れていました。社内で使って検証できたシステムをサービスとして提供することにより、アイネットのお客様にも安心してご利用頂けます。そのため、選定にあたっては構築・サポートの容易さも考慮しながら、慎重に行われました。

株式会社アイネット クラウドサービス本部 クラウドサービス事業部 ソリューションアーキテクト部の宮川 佳子氏は、Swivel の第一印象として「シンプルで扱いやすい。」と感じたそうです。

「将来弊社のサービスと組み合わせることを考えた場合、構築の容易さと製品の安定性は重要なポイントです。構築時の手離れが良くなれば、事業の効率化に大きく貢献します。」(宮川氏)

このような視点から見た場合、Swivel には以下の様なメリットがありました。

- ① 仮想プライアンスとしての導入が可能で作業が簡単に行える
- ② 品質が安定している
- ③ 充実したナレッジベースがあり、サポートもしっかりしている

仮想プライアンスは、アプライアンスイメージをそのまま仮想化環境に展開するため、OS などの設定や管理作業が必要無く、構築も管理も容易です。将来的に Swivel をアイネットのサービスとして提供する際に重要なポイントです。

また、Swivel は VPN や外部のシステムとの導入実績が豊富なことも魅力でしたが、特筆すべきは、膨大な技術情報がナレッジベースに収められており、誰でも簡単に検索できることでした。

充実したナレッジベースとしっかりしたサポート

株式会社アイネット 戸塚事業本部 IT マネージドサービス事業部 総合技術部 技術課の小熊 隆史氏は、ナレッジベースの充実ぶりに驚いたということです。「様々なシステムとの連携方法や、ノウハウがきめ細かく公開されていて、本当に充実しています。」

また、サポートについても「そもそも、ナレッジベー

スのおかげでサポートを必要とすることが少ないのですが、問合せに対するレスポンスも大変良く、非常に助かりました。さらに、問合わせの内容がすぐにナレッジベースに反映されたのにも驚きました。」と仰っていただきました。

ナレッジベースの充実度とサポート品質の高さは、アイネットが今後クラウドサービスで Swivel を提供していく際に、強力な武器となるでしょう。将来、様々なシステムとの統合を行うことが予想されますが、そのような時にはナレッジベースが非常に役立ちます。海外のベンダーへの問合せは、時差を考えるとどうしても時間がかかります。問合せへの回答を待たずにどんどん調べることができるのは大変便利です。

利便性の向上によりユーザーが増加

Swivel をアイネットの社内システムに導入する作業自体は、非常にスムーズに進んだということです。「ナレッジベースで事前にほとんどのことを調べることができましたから、まったく問題はありませんでした。」(小熊氏)

現在、1,000 人の社員全員が Swivel を利用して SSL-VPN の認証を行っています。小熊氏からは「Swivel の導入後、VPN 経由での同時アクセス数が以前の 2 倍程度に増えています。恐らく、使い勝手が良くなったことが原因では無いでしょうか。」との御言葉を頂きました。



(左から)株式会社アイネットクラウドサービス本部クラウドサービス事業部ソリューションアーキテクト部 宮川 佳子氏、株式会社アイネット戸塚事業本部 IT マネージドサービス事業部 総合技術部 技術課 小熊 隆史氏



セキュリティストリングス株式会社

〒102-0082 東京都千代田区一番町 6 番地 相模屋本社ビル 7F
Email: sales@securitystrings.com
URL: <http://www.securitystrings.com>

お問合せ